

# Cancer Science

The official journal of the Japanese Cancer Association



*Cancer Science* モーニングレクチャー

## 研究成果を魅力的な英語論文に仕上げるヒント



高橋 隆  
Associate Editor, *Cancer Science*  
名古屋大学大学院医学系研究科  
分子腫瘍学分野

I have nothing to disclose as COI related to this presentation.

英語で論文を書く

英語がよいからといって

論文は通らない!

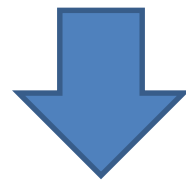
「こうすれば採択される英語論文」や

「採択されやすい英語表現」

などというものはない!

# Editorの視点

英語がひどくて査読する気が萎えるような論文は存在



**Science**が良くても損をする！

論文を審査する

Reviewerの視点で書こう



査読に耐えうるレベルの  
英語力は、研究者に  
とって必須の能力

# どうすればよいか？

- 英語を母語としない我々が、造語  
しつつ書いた英語では通じない
- されど、急に英語力はつかない

幸いなことに、科学論文を書く  
くのに、難解で高尚な英語の  
表現力は必要ない！



投稿前には、必ず**英文校正サービス**  
の利用は必須だが、

まずは、「**何を書いているのかを、  
英語校正者が分かる英語**」を  
目指しましょう！

# 手っ取り早い改善策

慣れるまでは、一文を  
できるだけ短く!

# 本質的な改善

自分の引き出しを増やす



定型的な科学英語の表現（用語  
やフレーズ、構文など）を気に  
留めつつ論文を読む癖を

魅力的な英語論文に仕上げ  
るヒント！

論理の構造が明瞭な論文を  
書こう！

先ず、論文全体の構造（論旨  
の流れ）を考えよう

Reviewerが容易に理解でき、  
魅力的だと感じてもらえるか？

まず全体の論旨の構築の仕方、  
とくにResults セクションにお  
いて研究成果を提示する流れか  
ら考えよう

# 執筆のポイント

1. 目的と結論の一致
2. “新規性”を明確にする
3. 冗長な表現をしない

特にIntroduction, Discussion間で

4. 論理的な展開
5. 短くて簡潔な英文



# いきなり文章を書き始めない！

大見出し（その1）

中見出し

小見出し

小見出し

中見出し

小見出し

大見出し（その2）

⋮

**最初から  
全て英語で**

日本語で書いて  
英語に翻訳して  
いては、真っ当  
な英語論文はで  
きない

全体の構成を考えたら、その論旨を  
納得してもらおうために必要なFigure  
やTableをまず考える  
(Supplementary FigureやTableも)

足りないFigure (データ) に気づく  
かもしれない

# 研究成果を論旨に沿って提示するための Figure や Table を作る

大見出し (その1)

中見出し

小見出し Figure 1 & S1

小見出し

中見出し

小見出し Figure 2, Table 1

大見出し (その2)

⋮

ここまでできたら、いきなり**英文で埋めて行こう！**

大見出し（その1）

中見出し

小見出し **Figure 1 & S1**

**この内容を英文で埋める**

小見出し

**この内容を英文で埋める**

中見出し

小見出し **Figure 2, Table 1**

**この内容を英文で埋める**

# 注意ポイント

論文内で同じ内容を繰り返さない！

IntroductionとDiscussion、或いは  
ResultsとDiscussionで、同じことを  
論じている原稿がしばしばみられる

# Introduction と Discussion

**Introduction:** 対象とする疾患、現象、分子などの**背景情報**を提供し、この研究を進める**意義・必要性**を述べる

**Discussion:** **既報の知見との関連性や対比**を交えて、今回得られた**成果の意味・意義**することを論じるとともに、研究のさらなる**深化の方向性**、**応用の可能性**などについて述べる

# Results と Discussion

**Results:** 当該研究を遂行することで**新たに得られたエビデンス**を、論旨に沿って分かり易く提示する。

**Discussion:** 当該研究の**成果のサマリー**では**無い**点に注意！

# 念のため

Plagiarism（他者の論文からの剽窃）や、許容されないtext recycling（自分の過去の論文の文章の再利用）に当たる部分が無いことを、iThenticateなどのサービスを用いて確認しておくが良い。



# 最後に、英文校正サービスに依頼をして、 ブラッシュアップ

- 著名な出版社の提供からフリーランスまで、  
玉石混交の感は否めない
- 時に文意を取り違えた校正をされる場合もある。変だと感じたら遠慮なく確認を取る
- Reviseをする際のrebuttal letterは重要な  
ので、校正に出すことを勧めます

# 投稿先ジャーナルの選定

内容に沿ったジャーナルを選択することが大切

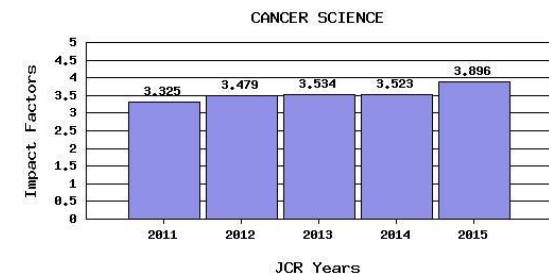
1. **Aims and Scope**を読む
2. 投稿規程を読む
3. どの**Index& Abstract** サービスに収載されているか
4. どれだけ広く読まれているか
5. オープンアクセス出版か否か

*Cancer Science*は....

- 創刊107周年
- **Impact Factor: 3.896**  
(Oncology分野 62位/213誌 )
- 投稿受理～初回判定： 17日 (原著の場合)
- オープンアクセス誌  
(出版と同時に誰でも無料でフルテキスト閲覧)
- 年間のフルテキストダウンロード数: >675,000



The most cited  
cancer journal from  
Asia



# 投稿数・採択数: *Cancer Science*

2013-2015

	2013	% Acceptance rate	2014	% Acceptance rate	2015	% Acceptance rate
Total Submission	1224	-	1165	-	957	-
Accepted	207	17 %	215	19 %	224	24%
Accepted (日本からの論文)	145	41 %	145	39%	160	44%
Accepted (外国からの論文)	62	7 %	70	9%	64	11%
Reject/expired/pending/lapsed	1017	83%	950	82 %	733	76%

投稿～First decisionにかかる日数: Original Articleでは…

	2013	2014	2015	2016
Submission to first decision	16日	18日	19日	17日

# Aims and Scopeとは？

## Aims and Scope:

ジャーナルの目的

ジャーナルの取り扱い領域・分野

論文種別 (総説, 原著, 症例報告など)

投稿前に必ず目を通し、自身の研究内容とあっているかを確認する

→ 論文内容が素晴らしくとも、Aims and Scopeに合わない論文はRejectされる

# 投稿規程とは？

ジャーナルごとに投稿規程がある  
→ 最新の投稿規程を入手しましょう

投稿規程に書かれていること：  
論文執筆に必要な情報  
別刷り  
出版費用  
オプションサービス

著者が利用できるサービスは・・・  
(一部有料)

- Color on Web
- 無料PDF offprint
- Offprint (冊子別刷り、有料)
- Author Service
- Accepted Article
- Early View
- オープンアクセス出版 (有料)

*Cancer Science*の最新の投稿規程はジャーナルHP  
(右記QR codeより)



# 論文作成：Covering letterの準備

- **Cancer Science**への掲載を希望して投稿  
学会やシンポジウムのプロシーディングスで抄録発表された以外に、他のジャーナルに掲載済み、あるいは投稿中でないこと
- すべての著者が貢献し、論文内容に同意
- **corresponding author**の連絡先
- 転載がある場合は、許可取得の有無
- **The salient and novel findings of the paper in a concise paragraph.**
- 掲載分野（ジャーナルが指定する9分野より選択）
- 文字数制限を超えている場合、その理由
- **Case Reports**においては、**informed consent**の有無

# 利益相反 *Disclosure Conflict of Interest*

*Cancer Science*では、全論文において、責任著者のみならず**全ての著者**について、過去3年間の利益相反の開示を求めています

開示条件：

1. Employment/Leadership position/Advisory role (JPY1,000,000 /US\$10,000 or more)
2. Stock ownership  
(Profit of JPY1,000,000/US\$10,000 or more/ownership of 5% or more of total shares)
3. Patent royalties/licensing fees (JPY1,000,000/US\$10,000 or more)
4. Honoraria (e.g. lecture fees) (JPY500,000/US\$5,000 or more)
5. Fees for promotional materials (e.g. manuscript fee) (JPY500,000/US\$5,000 or more)
6. Research funding (2,000,000 yen / US\$20,000 or more before 31 December 2014, or 1,000,000 yen / US\$10,000 or more after 1 January 2015)
7. Others (e.g. trips, travel, or gifts, which are not related to research) (JPY50,000/US\$500 or more)

また、臨床研究には、追加の開示事項があります(ガイドライン参照のこと)

*Cancer Science* 独自の利益相反ガイドラインと投稿時提出フォームがあります (投稿規定内、Disclosure、右記QR codeより)



## Editor, 査読者のコメント：返信

返信するとき.....

1. 質問やコメント一つ一つに誠意を  
もって応える
2. 卑屈になる必要は無いが、丁寧に
3. 攻撃的或いは過度に防衛的な反応は  
避ける



## Editor, 査読者のコメント：返信

4. コメントを転記して、その順番どおりに返信する
5. 一つ一つ、どのように対応したかを明記
6. 提案を取り入れた対応を行わない場合  
➡理由（科学的に正当な根拠）を明記して反論
8. 提案された変更全般に同意できない場合  
➡取り下げて他誌に投稿

# 出版倫理の遵守 *Publication Ethics*

出版倫理に反した論文が増加

→ 論文のRetraction, 所属機関での処分などキャリアを失うことも...

- 二重投稿
- 二重出版
- 盗作
- データ捏造・改ざん
- 著作権侵害

出版倫理に関する情報はCOPEウェブサイトへ

Committee on Publication Ethics (COPE)  
<http://publicationethics.org/>

*Cancer Science*では、悪質なケースが発覚した場合には著者の所属機関への連絡と調査依頼、一定期間の投稿禁止措置をとります（詳細は、投稿規程の*Duplicate Publication and Scientific Fraud*）

# 参考文献

## *Author Services*

<http://authorservices.wiley.com/>

## Author Services

### Author Services Menu

- Home
- Authors
- Reviewers
- Help

### My Dashboard

- Sign In or Register
- My Publications
- Order OnlineOpen

### Welcome



Information for [Authors](#) [Reviewers](#)

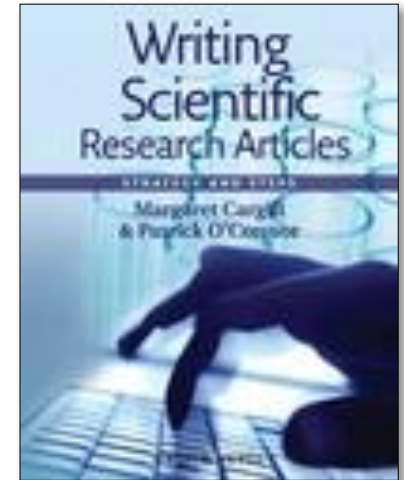
## *Webinars*

[wileyauthors.com/webinars](http://wileyauthors.com/webinars)

- Introduction to Publishing for Early Career Researchers
- What Makes a Good Abstract and More...
- Your Route to Open Access: 5 steps to success
- AGU Author Webinar: How to Publish your Research

# 参考文献

***Writing a Paper*** by George Whitesides,  
Advanced Materials (available on  
<http://materialsviewchina.cn>)



***Writing Scientific Research Articles: Strategy and Steps*** by Margaret Cargill,  
Patrick O'Connor, April 2009

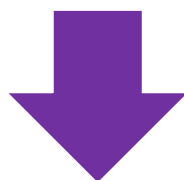
***How to Write a Paper***, 5th Edition edited  
by George M. Hall (Editor), October 2012



***Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals*** by  
ICMJE, December 2015 (<http://www.icmje.org/icmje-recommendations.pdf>)

若手研究者を対象とした論文賞

# *Cancer Science* Young Scientists Award



- 論文投稿時35歳以下の著者が対象
- 今年度表彰分より日本人著者も対象

**Cancer**  
**Science**

Young  
Scientists  
Award

日本人論文賞

2016年表彰分より  
日本人も対象に!



論文投稿募集中

応募資格

- 2015年4月以降の出版論文
- 投稿時35歳以下の著者

表彰

- JCAにて受賞論文の発表及び表彰
- Wiley書籍\$150相当を贈呈

ご清聴ありがとうございました。

本日の *Cancer Science* モーニングレクチャー資料は  
日本癌学会ホームページ上にアップされる予定です。

# Appendix

補足資料として  
*Cancer Science*およびワイリーから提供されるものです

- ✓ 論文執筆にあたり確認しておくべきこと
- ✓ オンライン出版時代に  
自分の論文を検索上位にするための工夫
- ✓ *Cancer Science*より



# 論文執筆にあたり確認しておくべきこと

- Authorshipについて
- 臨床治験登録 Clinical Trial Registry
- 図表
- 倫理 Research Integrity
- 出版倫理の遵守 Publication Ethics
- 統計解析
- オープンアクセスの著作権ライセンス
- 英文校正サービス

# Authorshipについて

## Defining the Role of Authors and Contributors

### *2. Who Is an Author?*

The ICMJE recommends that authorship be based on the following 4 criteria:

- Substantial contributions to the conception or design of the work; or the acquisition, analysis, or interpretation of data for the work; AND
- Drafting the work or revising it critically for important intellectual content; AND
- Final approval of the version to be published; AND
- Agreement to be accountable for all aspects of the work in ensuring that questions related to the accuracy or integrity of any part of the work are appropriately investigated and resolved.

International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE)  
Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing, and Publication of  
Scholarly Work in Medical Journals, *Updated December 2015* より抜粋

## Authorshipについて

著者とは

前スライドの4条件全てを満たす者のみ

❖ Gift authorは ×

(Acknowledgementに謝辞として記載)

❖ 投稿後の著者の追加、削除は ×

Authorshipの問題で取り下げとなる論文が増加中

# 臨床治験登録 Clinical Trial Registry

- ヒト対象の臨床治験\*および医学系研究では国内のデータベースへの登録義務あり

\* 薬物動態や毒性に関するものは免除

- 患者登録開始前あるいは開始時に登録

- 代表的な登録機関

日本： University hospital Medical  
Information Network (UMIN)  
(<http://www.umin.ac.jp/ctr/>)

米国： National Library of Medicine  
(<http://www.clinicaltrials.gov>)

- 論文にも機関名と登録番号を記載する

## 図表 Figures & Tables

- 図表・グラフ作成ソフトウェア  
Illustrator, Photoshop, Word, Excelなど
- 写真  
コントラストを調整したり、レタッチを施すのはやめる  
→ データ捏造の嫌疑がかかる可能性
- Power Pointで作成された図表  
他の書式(TIF, EPS\*など)に変換保存するとき上下左右にランダムにフリップしたり、線などが消失  
→ 変換後の内容がオリジナルと同じであるか  
著者責任で確認すること

\*採択後、出版製作用にこれらの書式のファイルが求められます

# 倫理 Research Integrity

- 被験者へのInformed Consent
- 実験動物への倫理的配慮
- 臨床研究における倫理委員会の承認
- Authorship: Equal contribution および 論文内容への全著者の同意
- 利益相反(COI)の開示
  - 利益相反は開示することに意味がある
  - 「迷ったら開示」、COIないときは「なし」と記載
- 本誌のみに投稿、未発表の論文である
- 転載許可取得の有無

カバーレターや本文に記載 → 投稿規定で確認

# 出版倫理の遵守 *Publication Ethics*

出版倫理に反した論文の増加

バレたらretractionすればいいという安易な考え

→ 所属機関での処分などキャリアを失うことも...

- 共著者の同意がない
- 二重投稿
- 二重出版
- データ捏造・改ざん
- 著作権侵害
- 盗作

**Cancer Science**

CrossCheckで他論文との  
重複状況をチェック

出版倫理に関する情報はCOPEウェブサイトへ  
Committee on Publication Ethics (COPE)

<http://publicationethics.org/>

噂はネット上ですぐに広まる:

取り下げ論文情報ブログの存在

Retraction Watch

<http://retractionwatch.wordpress.com/>

# 統計解析 *Statistics*

統計の専門家にみてもらう



統計学で重要なことは  
解析をいかに示すかより、適切な研究デザイン  
研究の初期段階で経験のある生物統計家に  
相談し、適切な研究デザインを得るのがベスト



# 著作権ライセンス:オープンアクセスの場合

	非オープンアクセス ジャーナル	オープンアクセス ( <b>CC-BY-NC</b> の場合)	オープンアクセス ( <b>CC-BY-NC-ND</b> の場合)
著作権書類	出版社指定の書類	CC-BY-NC	CC-BY-NC-ND
論文の著作権	学協会や出版社	著者	著者
論文へのアクセス	フルテキスト閲覧は 有料	出版と同時に、誰でも無料でフルテキスト閲覧可	左に同じ
論文の再利用	<b>制限あり</b> (著者本人以外の利用では常に転載許諾が必要)	制限あり( <b>非営利目的での利用に限定して</b> 、オリジナル論文をサイトすれば、誰でも自由に改変・複写・利用可)	制限あり( <b>非営利目的および改変(翻訳含む)なしでの利用に限定して</b> 、オリジナル論文をサイトすれば、誰でも自由に複写・利用可)

# 英文校正サービス

Wiley Editing Service (<http://wileyeditingservices.com/en/>)

WILEY

Upload your Manuscript →

Services

Prices

Certificate Program

FAQs

Testimonials

## Let your research do the talking

There should be no barriers to getting your research published, yet we know that manuscripts are often returned for English language and formatting issues.

Let Wiley Editing Services provide you with expert help to ensure your manuscript is ready for submission.



English Language Editing



Translation Service



Manuscript Formatting



Figure Preparation

**オンライン出版で  
自分の論文を検索上位にするための  
著者による工夫**

## 検索でヒットする論文にする重要性

著者の工夫によって、

検索されやすく、

アクセスを増やし、

論文が長期にわたって読まれ、また引用される  
可能性を高める

ことができます。

# 論文タイトル・抄録・キーワード

## 論文を検索上位にヒットさせるコツ

- 論文タイトルは、内容を具体的に表現し、主題に関するキーワードを含める
- **Abstract** (抄録) にキーワードをうまく配置
- キーワードは少なくとも5つ設定
- 著者名の表記に一貫性を持たせる
- 見出しを活用する
- 自分や共著者の過去の論文を引用

# SEOに成功したabstractの例 – ここが注目ポイント

表題に主要なキーワードが含まれている

## Ocean Acidification and Its Potential Effects on Marine Ecosystems

### Keywords

ocean acidification, climate change; carbonate saturation state; seawater chemistry; marine ecosystems; anthropogenic CO<sub>2</sub>

検索ワードに使われやすいキーワードが設定されている

### Abstract

Ocean acidification is rapidly changing the carbonate system of the world oceans. Past mass extinction events have been linked to ocean acidification, and the current rate of change in seawater chemistry is unprecedented. Evidence suggests that these changes will have significant consequences for marine taxa, particularly those that build skeletons, shells, and tests of biogenic calcium carbonate. Potential changes in species distributions and abundances could propagate through multiple trophic levels of marine food webs, though research into the long-term ecosystem impacts of ocean acidification is in its infancy. This review attempts to provide a general synthesis of known and/or hypothesized biological and ecosystem responses to increasing ocean acidification. Marine taxa covered in this review include tropical reef-building corals, cold-water corals, crustose coralline algae, *Halimeda*, benthic mollusks, echinoderms, coccolithophores, foraminifera, pteropods, seagrasses, jellyfishes, and fishes. The risk of irreversible ecosystem changes due to ocean acidification should enlighten the ongoing CO<sub>2</sub> emissions debate and make it clear that the human dependence on fossil fuels must end quickly. Political will and significant large-scale investment in clean-energy technologies are essential if we are to avoid the most damaging effects of human-induced climate change, including ocean acidification.

Abstract全体を通して、キーワードが文脈に沿って自然に、繰り返し盛り込まれている

# 著者による論文の セルフプロモーション



# 論文へのリンクをシェアする

## Original Article

### Personalized peptide vaccination for cervical cancer patients who have received prior platinum-based chemotherapy

Kouchiro Kawano<sup>1</sup>, Naotake Tsuda<sup>1</sup>, Kayoko Waki<sup>2</sup>, Satoko Matsueda<sup>3</sup>, Yoshiro Hata<sup>3</sup>, Kimio Ushijima<sup>1</sup>, Kyogo Itoh<sup>3</sup>, Akira Yamada<sup>2,\*</sup> and Toshiharu Kamura<sup>1,†</sup>

Article first published online: 22 JUL 2015

DOI: 10.1111/cas.12729

© 2015 The Authors. Cancer Science published by Wiley Publishing Asia Pty Ltd on behalf of Japanese Cancer Association.

This is an open access article under the terms of the [Creative Commons Attribution-NonCommercial License](#), which permits use,

## Issue



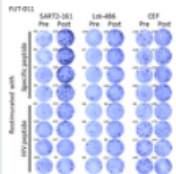
Cancer Science  
Volume 106, Issue  
1111–1117, Septem

## E-mail

### E-mail a Wiley Online Library Link

Kouchiro Kawano, Naotake Tsuda, Kayoko Waki, Satoko Matsueda, Yoshiro Hata, Kimio Ushijima, Kyogo Itoh, Akira Yamada and Toshiharu Kamura Personalized peptide vaccination for cervical cancer patients who have received prior platinum-based chemotherapy Cancer Science 108

Article first published online: 22 JUL 2015 | DOI: 10.1111/cas.12729



Twenty-four patients with advanced cervical cancer were enrolled in this study. Because of the safety, immunological efficacy, favorable clinical responses, and possible prolongation of OS, this vaccine is feasible for further development.

Complete the form below and we will send an e-mail message containing a link to the selected article on your behalf

\*= Required Field

Your Name: \*

Your E-mail: \*

Recipient's E-mail \*

Enter the text you see here: \*

## ARTICLE TOOLS

- Get PDF (191K)
- Save to My Profile
- E-mail Link to this Article
- Export Citation for this Article
- Get Citation Alerts
- Request Permissions

## + Share |

- Digg
- Diigo
- StumbleUpon
- ResearchGate
- Reddit

サインイン

AddThis

プライバシー



## SNSやブログの利用

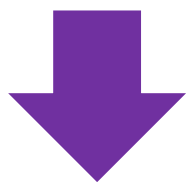
自分の論文についての情報を潜在的な読者と共有する

- Mendeley
- ResearchGate
- ReadCube
- Kudos
- Facebook / Twitter / LinkedIn
- 自分が投稿できるブログやウェブサイト

***Cancer Science*より**

Android, iPhone & iPad向け アプリ無料配信中

アプリは無料  
論文も無料閲覧



ダウンロード

[www.wileyonlinelibrary.com/journal/cas](http://www.wileyonlinelibrary.com/journal/cas)

*Download the Free App on your iPhone/iPad or Android today!*

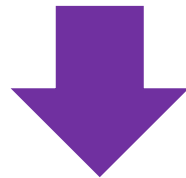


*New!*



# 若手研究者を対象とした論文賞

## *Cancer Science* Young Scientists Award



論文投稿時35歳以下の著者が対象  
日本人著者も対象\*

\*2015年4月以降

**Cancer Science**

Young Scientists Award  
日本人論文賞

2016年表彰分より  
2名追加!

論文投稿募集中  
応募資格

- 2015年4月以降の出版論文
- 投稿時35歳以下の著者